

会 議 録

1 会議名

令和6年度第6回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 自主的な審議(公開)

- ・自主的審議事項のテーマについて
- ・明日へつなぐ事業検討委員会の今後の進め方について
- ・まちづくりフォーラムの内容について

(2) 報告事項(公開)

- ・令和5年度の柿崎マリンホテルハマナスにおける市及び指定管理者の収支状況等について

(3) その他(公開)

3 開催日時

令和6年10月15日(火) 午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員：吉井一寛(会長)、中村誠(副会長)、石田一久、金子豊彦、小出祥世、小関信夫、小山慶、坂木朋子、佐藤達弥、佐藤昌貴、滝澤正芳、蓑輪和彦、山川昌恵
- ・事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、石澤次長、五十嵐産業グループ長、宮崎建設グループ長、石川市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長

8 発言の内容（要旨）

【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に坂木朋子委員を指名。
- ・議事運営の一部を変更し、はじめに次第 4 の自主的な審議 (3)まちづくりフォーラムの内容について協議する。山川実行委員長に、まちづくりフォーラムの内容の説明をお願いする。

【山川実行委員長】

- ・10月3日に、第1回まちづくりフォーラム実行委員会を開催したので、協議結果を報告する。
- ・資料4により、まちづくりフォーラムの目的、開催日時、会場、内容、周知方法を説明。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから質問等はないか。

【滝澤委員】

- ・紙面で周知することが多いが、40歳代より上の層の方は Web で情報を得ることが多いと思うので、例えば上越タウンジャーナルや上越妙高タウン情報に、まちづくりフォーラムの記事を掲載し PR すれば、多くの来場者を見込めると考える。

【山川実行委員長】

- ・大変良い意見なので、実行委員会で検討したい。

【吉井会長】

- ・今後、まちづくりフォーラム開催に向けて実行委員会で詳細を検討していくこととなるが、この内容で進めてよいか、皆さんの了解を得たい。よろしいか。
(「はい」の声)
- ・次に、次第4の(1)自主的審議事項のテーマについて協議する。先月の地域協議会において、柿崎観光協会、柿崎商工会、NPO 法人柿崎まちづくり振興会の3団体との懇談会の結果を踏まえて、自主的審議事項のテーマを協議し「柿崎山岳会解散後の米山登山道等の維持管理及び魅力発信」「柿崎運動公園を魅力あるスポーツ集中エリアに」「移住者、地域、地域団体の新たなネットワークの構築」の3つのテーマを決め、今後委員会を立ち上げて審議を進めることとした。
- ・委員会の構成員を決めるため、事前に皆さんから審議に参加したいテーマを聞いてあるので、話し合いのうえ構成を決めたい。
- ・協議の結果、次のとおり決定した。
 - ① 「柿崎山岳会解散後の米山登山道等の維持管理及び魅力発信」をテーマとした委員会：小出委員、小山委員、佐藤まゆみ委員、滝澤委員、中村副会長
 - ② 「柿崎運動公園を魅力あるスポーツ集中エリアに」をテーマとした委員会：小関委員、坂木委員、佐藤昌貴委員、滝澤委員、山川委員
 - ③ 「移住者、地域、地域団体の新たなネットワークの構築」をテーマとした委員会：石田委員、金子委員、佐藤達弥委員、蓑輪委員、吉井会長
- ・委員会の構成が決まったので、10月中に1回目の委員会を開催し、正副委員長の選出、委員会の名称、審議の進め方等を話し合っていたきたい。本日、地域協議会終了後に日程調整を行ってほしい。
- ・次に、農業団体と漁業団体、子育て中のお母さんの団体との懇談会の開催方法を改めて説明する。各団体の担当は、9月の懇談会開催のときの3つの班で1団体ずつ受け持ってもらおう。1班が子育て中のお母さんの団体、2班が漁業団体、3班が農業団体とそれぞれ懇談会を行うこととする。各班のリーダーは事務局と日程調整し、今年度中に懇談会を開催してほしい。抽出した課題の取り扱いについては、先ほどの自主的審議事項の3テーマの審議終了後に検討する。
- ・続いて、次第4の(2)明日へつなぐ事業検討委員会の今後の進め方について協議する。委員改選に伴い、明日へつなぐ事業検討委員会のメンバーは小出委員と

小山委員の2人だけとなってしまった。今後、どのように検討委員会を進めるかを協議したい。最初に、小出委員に考えを聞く。

【小出委員】

- ・明日へつなぐ事業検討委員会は、柿崎区における「地域活性化の方向性」を地域独自の予算事業につなげるために取り組んできたが、団体を立ち上げるまでには至らなかった。きちんと検討して組織を作らないといけないことを改めて知り、腰を据えて取り組んでいきたい。
- ・今後の進め方については、先ほど自主的審議事項のテーマ別に委員会を立ち上げたことから、今年度、明日へつなぐ事業検討委員会を進めることはスケジュール的に難しいと思われるので、検討委員会を一旦休止とし、来年4月に再検討したいと考えている。

【吉井会長】

- ・私も、新しいメンバーで自主的審議事項の審議がスタートするので、明日へつなぐ事業検討委員会を一旦休止したいと考えている。また機会があったら、検討を始めたいと思っている。よろしいか。

（「はい」の声）

- ・それでは自主的な審議の協議を終了し、次第5の(1)令和5年度の柿崎マリンホテルハマナスにおける市及び指定管理者の収支状況等について、事務局から報告をお願いする。

【五十嵐グループ長】

- ・資料5により説明。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから質問等はないか。

【佐藤達弥委員】

- ・興味を持って資料を見た。令和3年から5年まで利用者数が微増していることと、ホテルを利用するシーズンはいつごろなのか興味を持った。夏場の利用が多いのか、冬場の利用が多いのか、またどういうお客様の層が柿崎マリンホテルハマナスを利用されているのかを教えてください。

【五十嵐グループ長】

- ・月ごとの利用者数を見ると、平均して月の利用者が1,000人前後おられ、ほぼ

平均した入込となっている。

【佐藤達弥委員】

- ・ 海岸に近いので、夏場の海水浴客の利用が多いというイメージを持っていたが、年間を通じてコンスタントに利用があることを改めて知った。

【吉井会長】

- ・ その利用者数は日帰り入浴を含んだ人数か。

【五十嵐グループ長】

- ・ すべて含んだ人数である。

【小出委員】

- ・ 食堂の利用者数は、レストランのランチの利用だけか。
- ・ 食堂の利用が減少している。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、利用が増えていると思っていたが、減っているのはどういうことか。

【五十嵐グループ長】

- ・ 食堂の利用者数には宿泊者の利用は含まれていない。レストランの利用者のみを計上している。
- ・ 令和3年から5年まで利用者数は減っているが、今年3月に柿崎マリンホテルハマナスは開業30周年を迎え、特別メニューを提供し利用者増のため頑張っていると聞いている。

【小関委員】

- ・ マリンホテルの隣に温浴施設があったが、施設を除却し更地にした経緯がある。
- ・ 資料に、柿崎マリンホテルハマナスの管理運営委託料と公費投入額の記載がある。これだけ多額の公費を投入しているにも関わらず、市は運営していけると判断したのかどうか。

【五十嵐グループ長】

- ・ 過去にホテルの隣に温浴施設があり、その機能をホテルに集約したと聞いている。そのうえで運営していけると判断し、現在まで経営してきたという認識なので、ご理解をいただきたい。

【小関委員】

- ・ 資料の収支状況等の数字を見て聞いているが、市はマリンホテルを運営していけると判断したと考えてよいか。

【新部所長】

- ・柿崎マリンホテルハマナスに限ることではないが、公費投入額が増加傾向にあることが課題となっている。一方、利用者数が減少傾向にあり、そうした中で施設をどうしていくかという協議・検討を、これまでも進めてきた。そして、今プロポーザル方式で、民間事業者から施設の利活用のアイデアを募集している。
- ・その結果、良いアイデアが出れば、そちらに進むという可能性もあり、あるいは全くアイデアがなかったとしても、直ちに施設を廃止するのではなく、指定管理を継続していく。
- ・そのうえで、令和 8 年から 12 年に次期上越市公の施設の適正配置計画を検討する際に、改めて柿崎マリンホテルハマナスをどうしていくかの協議を進めることとしているので、ご理解をいただければと思っている。

【吉井会長】

- ・それでは、他に質問等がないため報告事項を終了する。
- ・次に、次第 6 のその他 (1)会議の開催日程について、事務局から報告をお願いする。

【長井班長】

- ・次の会議の開催日程を説明する。
 - (1) 第 4 回柿崎区地域協議会だより編集委員会
 - (2) スキルアップ研修会
 - (3) 第 7 回柿崎区地域協議会
 - (4) 第 2 回まちづくりフォーラム実行委員会
 - (5) 頸北地区地域協議会委員合同研修会

【吉井会長】

- ・次に配付物について、事務局から説明をお願いする。

【長井班長】

- ・次の配付物を説明する。
 - (1) 頸城区地域協議会だより第 47 号
 - (2) 上越市男女共同参画推進センター ウィズじょうえつからのおたより
 - (3) 男女共同参画サポーター企画

アンコンシャス・バイアスを知ろう！ パネル展 in 柿崎区

(4) 上越市男女共同参画推進センター講座

自分らしく自由に生きる講演会

共同親権ってなに？

(5) 公益財団法人 新潟県女性財団主催

女性に対する暴力防止オンラインセミナー「何故DV関係になるのか」

【吉井会長】

- ・その他で事務局から連絡事項等はないか。

【長井班長】

- ・柿崎区町内会長連絡協議会主催の東北電力上越火力発電所視察研修会を説明し、参加者を募る。

【吉井会長】

- ・その他で皆さんから何かないか。

(なし)

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後 7 時 40 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。